

イナン電気株式会社 サイトレポート情報

所在地	: 愛媛県宇和島市津島町岩淵甲751番地
敷地面積	: 5,660m ² 、建家面積:3,220m ² 、緑化率 7%
設立	: 1973年8月 従業員:80人(2014年4月現在)
主要製品	: 自動車用小型電球
ISO14001認証取得	: 2004年10月 最新更新年月:2013年9月 (ISO認証番号:EC04J0292)



ごあいさつ

当社イナン電気は四国愛媛県の最南端に位置し、自動車用小型電球を生産しています。生産効率向上による省エネ、廃棄物リサイクルなど環境負荷低減に努めております。社名「イナン」は、地元四国西南部が渭南（いなん）地方と呼ばれていたことに由来しています。



環境管理責任者 高魚幸雄

2013年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
 - ・2013年8月3回目の更新審査（合格）
- ☆環境保全体制充実
 - ・関連法令、条例の遵守評価2回/年実施
 - ・東芝経営監査による管理体制強化
- ☆地球温暖化防止（省エネルギー推進）
 - ・高効率蛍光灯の推進、
- ☆廃棄物ゼロエミッションの推進
 - ・リサイクル推進により最終埋立率目標達成（最終埋立率目標0.5% ⇒ 13年度実績0.361%）
- ☆取引先に関する環境調査
 - ・廃棄物委託先現地確認（3件）
- ☆全員参加、地域とのコミュニケーション
 - ・環境月間、3R推進月間、での環境啓発活動
 - ・小中学生の工場見学・職業体験受入と環境に対する取組紹介
 - ・工場周辺清掃活動

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



当社主力製品はウエッジベースランプと呼ばれ、自動車のメーターや室内外照明の光源として幅広く使用されています。環境負荷物質を一切使用せず、高効率・長寿命により省エネ・省資源を実現、地球環境に配慮した安心して使って頂ける製品です。

【 イナン電気株式会社 環境方針 】

イナン電気株式会社は、株式会社東芝・東芝ライテック株式会社グループの一員として徹底した品質保証のもと、高品質な自動車用電球をご提供してまいりました。今後は更に、弊社がこれまで培ってきたノウハウを活かして「お客様に信頼され、パートナーとして選ばれる会社」を目指し日々邁進していきます。

「かけがえのない地球環境”を健全な状態で、次世代に引き継いでいく事は現存する人間の基本的責務」との認識に立ち地球環境保全の立場から事業活動全体が環境に与える影響を的確に捉え、「あらゆる面での地球環境保全に配慮して行動する。」を経営の最重要課題の一つであるとの認識をし、環境マネジメントシステムの継続的な改善による環境汚染防止に努める事を、会社経営の基本としていきます。

1. 環境に関する適用法令、条例等及びその他当社の合意した要求事項を順守します。
2. 生物多様性の保全を行なうために、事業活動が生物多様性に及ぼすかかわりを把握し、生物多様性に及ぼす影響の低減を図ります。
3. 環境目的及び目標を定め、環境マネジメントシステムの継続的改善を図るため、以下の項目を重点課題として取り組んでいきます。
 - (1)生産活動における省エネルギー活動に取組み、地球温暖化防止、温室効果ガスの排出削減に取り組めます。
 - ・ エネルギー使用量の削減
 - ・ Co2 排出量の削減
 - (2)企業活動に伴い発生する廃棄物排出量、埋め立て量の低減活動を推進する。
 - ・ 廃棄物総排出量の削減
 - ・ 最終埋め立て率の削減（ゼロエミッション）
 - (3)環境負荷物質使用に関わる排出量の低減を推進する。
 - (4)環境負荷低減のため環境配慮型製品の購入を推進する。
4. 環境マネジメントシステムを適切に運用し維持管理するため、全社員、組織のために働くすべての人に環境方針を周知徹底します。
5. 環境方針、環境に関する取り組みや成果を社内に掲示、又社外に開示します。

2012年10月1日
イナン電気株式会社 社長

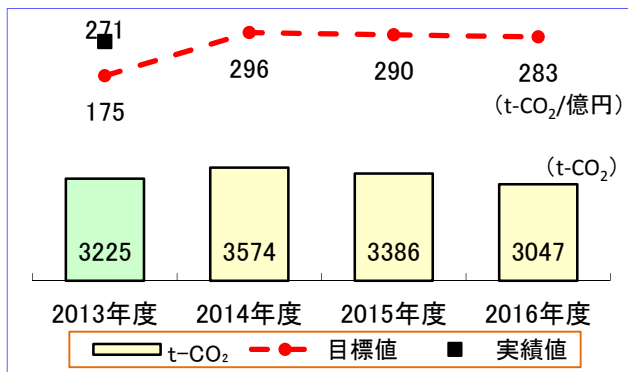
坂本俊二

環境目的・目標

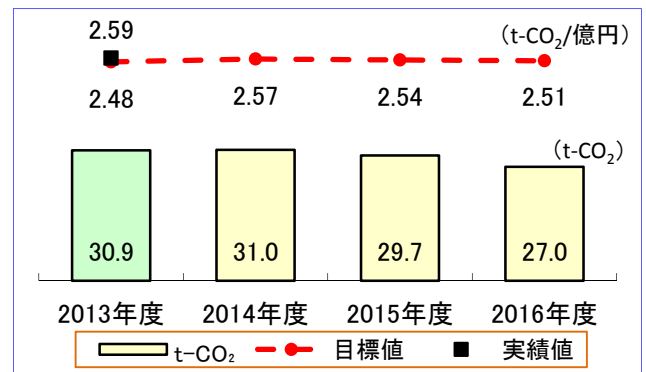
取組み項目		2014年度	2015年度	2016年度
地球温暖化防止	エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	296	290	283
	物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	2.57	2.54	2.51
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	20.1	19.7	19.3
	最終処分率の管理(%)	<0.5	<0.5	<0.5
	水受入量原単位の改善(千m ³ /億円)	0.127	0.125	0.122
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	0.249	0.247	0.244
生物多様性	生物多様性の推進	ビオトープ整備	希少種の観察	パフォーマンスの向上

環境負荷データ

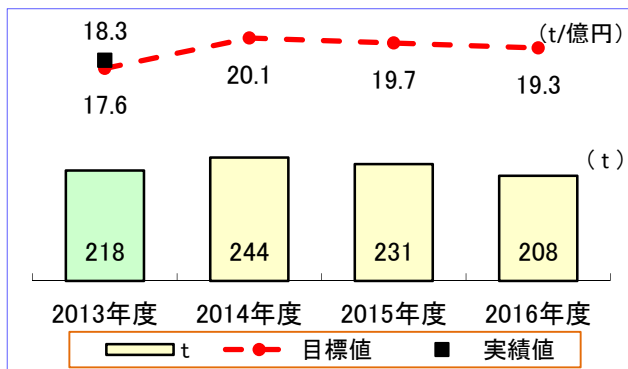
エネ起源CO₂



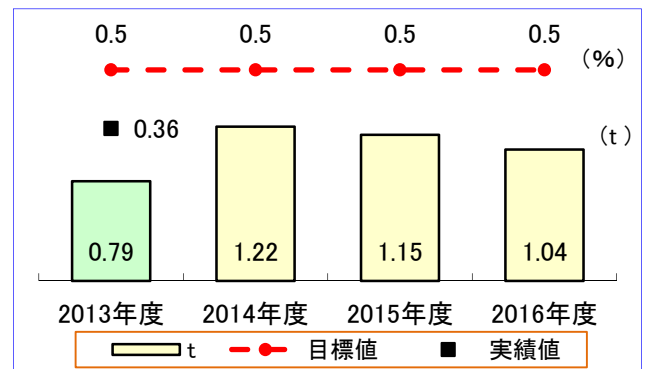
物流CO₂



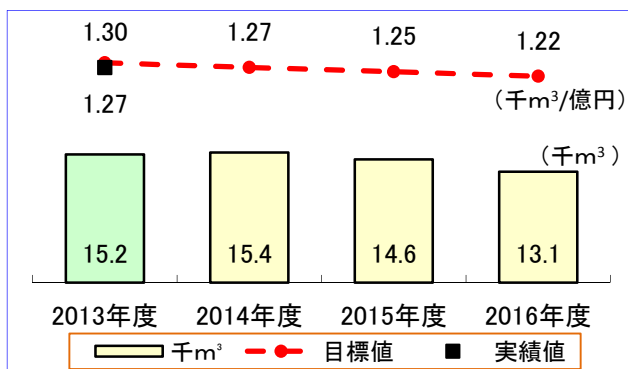
廃棄物総発生量



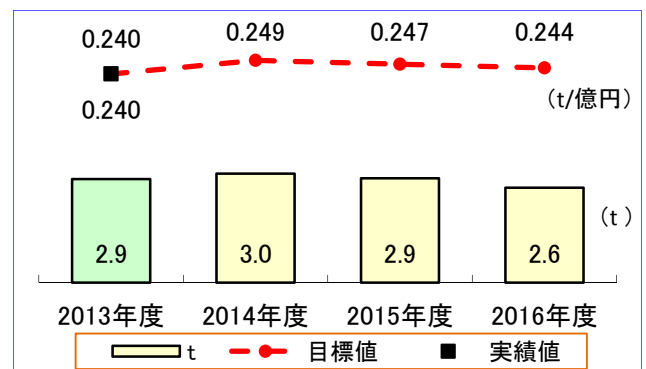
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



コミュニケーションの紹介

<小学生社会科見学>

約20年前より、近隣小学校の3年生の社会科見学を毎年6月度に受け入れ、子供たちに工場内を案内後、当社の環境にとり組む内容を紹介し質問等受けている。

(実施概要)

日時:2013年6月3日～13日参加人員64名



<工場前清掃活動>

毎年環境月間の行事及びCSRの一環として昼休みに従業員による工場前県道の清掃活動を実施しています。

(実施概要)

日時:2013年6月参加人員10名



生物多様性の取組み

指標種の選定

指標生物	指標生物の希少性
メスグロヒョウモン	チョウ目:タテハチョウ科 準絶滅危惧(NT)

ビオトープの概要

2014年4月度工場入口前にビオードフ設置
花など植える。



2014年5月蝶の餌となる野生のヨモギ移植
計画中に、ビオードフ内に野生のヨモギ6
株確認、移植を中止し保護することに
した。



工場周辺には、現在約7種類の蝶が確認されているが、正式な蝶の名前はわかっていない。週に一度ビオードフ内確認中に、6月19日初めてシジミチョウ科のつがいと思われるベニシジミが花の上にいるのを確認した。

